

(別紙5)

整理番号 2021P-192
補助事業名 2021年度 福祉車両の整備 補助事業
補助事業者名 社会福祉法人 ポップコーン福祉会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

送迎サービスを受けられない利用者のご家族が送迎されています。ご家族が送迎する生活は、ご家族に負担を強いるだけではなく、ご家族に頼る生活を続けることで利用者ご本人の心理的自立を妨げることにもなります。本事業で整備した車両を使って送迎サービスを拡充することにより、事業所に通う障害者が希望すれば送迎サービスを受けられるようにします。

障害者が地域社会に出かけて余暇を過ごす機会は、同じ年代の健常者と比べて極端に少ないのが現状です。障害があることが原因で社会経験が不足しています。「どこに外出したい？」と尋ねられても、何が出来るか選択肢が頭に浮かばないため、その問いに答えられない障害者が多くいます。本事業で整備した車両を使って障害者が地域社会に出かけて買い物、外食、遊ぶことを、同じ年代の健常者と同じようにできる社会を目指します。

本事業で整備した車両は車いす利用者を4人乗せることができます。当法人は障害が重く車いすを利用している方が多いため、この車両は大いに活躍してくれます。

(2) 実施内容

移送車3[車いす仕様(リフト式)]

(<http://www7b.biglobe.ne.jp/~pop-gifu/documents/hiace-no.5.pdf>)

車両外観



(別紙5)

リフト装置



リフト使用中



乗車風景



2 予想される事業実施効果

送迎サービスを拡充することにより、これによってご家族の毎日の負担が軽減できます。自らが利用するサービスの中で事業所と自宅の行き来をすることで、障害者の心理的自立を促し、親離れや子離れがしやすい環境を作ることもできます。

ご家族による送迎の必要がなくなることで、通いたくても通えなかった障害者が事業所を利用できるようになり、障害福祉サービスを楽しむ障害者を増やすことができます。

外出活動を積極的に行い、余暇的な社会経験を積むことにより、利用者の生活が豊かになり、ご本人の事業所における作業能率の向上や家庭生活での心身の安定にもつながります。

事故等により、私たちもいつ障害者になってもおかしくありません。障害者を受け入れ、豊かな生活を保障する私たちのような事業所は、地域社会のセーフティネットになります。

(別紙5)

3 印刷物等

本事業に係わる印刷物等

ポップコーンだより第62号(4ページ目)

(<http://www7b.biglobe.ne.jp/~pop-gifu/documents/popcorn.62.pdf>)

社会福祉法人 ポップコーン福祉会 広報 ポップコーン 2022年2発行

公益財団法人 JKA(競輪)様の補助事業で、 新たにハイエースを購入できました!

岐阜市にも競輪場がありますが、その主催者が公益の増進を目的として、ポップコーン福祉会の車両購入に助成をしてくださいました。車いすを4台固定できるスーパーロング・ワイドボディのリフト付き車両です。乗車定員は車いす利用者含めて8名。車いす2台固定時は車いす利用者含めて9名です。これから送迎やお出かけに活躍してくれるでしょう。ご期待ください。



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名: 社会福祉法人ポップコーン福祉会

(シャカイフクシホウジンポップコーンフクシカイ)

住所: 〒501-1177

岐阜県岐阜市中西郷1丁目20番地

代表者: 理事長 高木 敏治 (タカギ トシハル)

担当部署: ポップコーン

担当者名: 職員 若井 基一 (ワカイ キイチ)

電話番号: 058-215-7021

F A X: 058-215-7022

E-mail: pop-gifu@kke.biglobe.ne.jp

U R L: <http://www7b.biglobe.ne.jp/~pop-gifu/>